

## 1 第1回新しい学校づくり三好市・東みよし町地域協議会における意見整理

- ・ 日 時 平成19年7月20日（金）
- ・ 場 所 辻高等学校 研修会館 会議室
- ・ 議 題 新しい学校の教育について

### 【新しい学校の教育について】

#### 地域の人材を育てる視点

- 各学校には歴史があるように、地域に密着した重要な教育が行われている。
- 地域の活性化や発展を考えていく必要がある。
- 高齢化率が高い地域であり、この地域に若者が働ける場、働ける空間を増やすことが必要である。
- 将来を担う人間づくり、地域社会を担う教育を展開することが大切である。
- 地元に残れる生徒を一人でも多く作るのが一番の目標となる。
- 三好地域での仕事に繋がるような学校の教育が必要である。
- 三好地域は四国の他3県と隣接した町であり、人や情報の交流も盛んで学ぶべきことも多くある。こうした地域性を生かすべきである。
- 県外には介護福祉士やホームヘルパー（訪問介護員）1級を取得できる学校がある。資格が取れる学校があれば、子どもが地元の学校へ行きやすい。
- これからは農林業が大変重要になると予想される。高等学校だけでなく、小・中学校も含めて、農業の大切さ、山や地域の大切さ、林業の大切さなど、今から子どもたちと一緒に育てていくことが必要である。
- 3校とも歴史が長く、なぜその学校がそこにできたかを考えることが大切である。

#### 子どもの特性を生かす視点

- 学校に適応しにくい生徒が増えている状況の中で、ゆったりとした雰囲気、ゆったりとした教育環境を考える必要がある。
- 商業・農業系のエキスパートを育てる学科が必要で、専門学校への進学でも就職でも即戦力で使える生徒を育てる必要がある。
- 学校教育の中で自立を促す教育が必要である。
- 生徒一人ひとりを大切にしながら、それぞれの生徒の夢、希望を叶えられる学校であるべきだ。
- 三好地域の中学生を三好地域3校にいかに集められるか、他地域から3高校にきてくれる生徒をいかに増やしていくかが課題であり、そういう中で、新しい学校を考える必要がある。
- 大学に行きたい子どもには子どもの能力や適性に合わせた進学指導や専門高校枠を利用した進学も考えるべきである。
- 子供たちをどう生かしていけるか、少子化が進むこの地で、限られた予算と限られた人的な財産をどう生かしていくかが再編にかかっている。

新しい学科

- 中学校からの進路選択となったときに看護科の希望がある。そうした実態を考える必要がある。
- 再編によって科の名称も変わるだろうが、今扱っているものでおおまかな科，コースは出ている。ただ一つ考えなければならないのは看護科の問題である。確かに看護師への希望者もいる。しかし，どれだけ続くかが疑問であり，そのあたりについて協議すべきである。

2 新しい学校に必要な教育

